

【トヨタ自動車との連携】トヨタテクニカルセンターシモヤマ 環境学習プログラム

実施日時： 7月4日(日) 8:30~16:30

調査フィールド： トヨタテクニカルセンターシモヤマ

環境調査講師： 愛知教育大学 理科教育講座 准教授 島田 知彦 先生

トヨタ自動車スタッフ： プラント・環境生技部 生産環境室

村山 浩二郎 様、 伴 邦教 様、 原 晋太郎 様

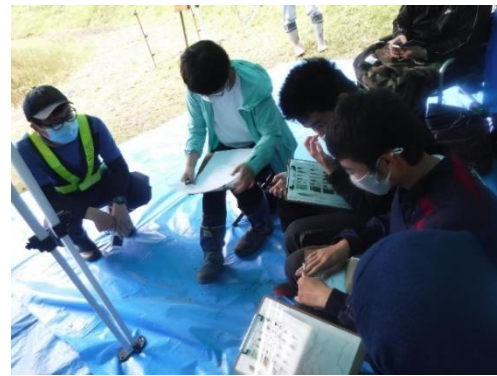
生徒9名がトヨタテクニカルセンターシモヤマまでバスで移動し、センター敷地内の自然豊かなフィールドを舞台に、カエルの調査に取り組みました。

午前は、事前に決めておいたルートに沿って目的の動物の出現数を調査する「ラインセンサス法」に取り組み、4つの区画でカエルの個体数調査を行いました。その後、4種類のカエルの生態、見分け方、この地域に生息している他の生物について、講師の島田先生に御教授いただきました。



午後は、オタマジャクシの捕獲を行いました。たも網でオタマジャクシを捕獲し、その種類を判別しながら個体数を記録しました。今回は、3種類のオタマジャクシの捕獲に成功しました。その後、成体の分布とオタマジャクシ採集の記録から、この地域におけるカエルの生活について考察しながら意見交換を行い、この日のプログラムを終えました。

島田先生、トヨタ自動車の皆様のおかげで大変充実した調査を行うことができ、学びの多い一日となりました。次回は、3月に予定しています。



<生徒の感想>

ラインセンサス法で、カエルの個体数を測定するのも楽しかったです。またトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、アマガエルなどの色々なカエルに出会ったときは興奮しました。

たくさんのオタマジャクシを捕まえて、体色、模様、歯の形などからの判別方法を教えてもらい、実際に見せてもらいながら解説していただきとても分かりやすく、興味深かったです。

<トヨタ自動車の方のコメント>

参加した皆さんの、楽しそうに生物の授業に取り組んでいる姿が印象的でした。本プログラムを通して、自然共生への興味を持っていただけたらと思います。